

平成27年9月25日

福島県における原子力災害が子どもと保護者に与えた 心理的影響について

日頃から本学に多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

福島大学 災害心理研究所は2011年に発生した福島県における原子力災害の直後から原子力災害が子どもと保護者に与える心理的影響について研究を続けています。

2014年11月から2015年3月までの期間に、名古屋大学や東北大学の研究者とともに、

- 1) 幼稚園児、小学生と保護者の心理的ストレスや不安に関する調査
- 2) 幼児と、乳幼児の保護者の心理的ストレスや不安に関する調査
- 3) 原子力災害の心理的メカニズムに関する研究
- 4) 心理的健康を増進させるための試み

を行ってまいりましたので、それらの結果等を下記のとおり皆様にお知らせいたします。

記

日 時： 平成27年9月30日（水）13：30～14：30

場 所： 福島大学 事務局棟 2階 第2会議室

出席者：

福島大学 共生システム理工学類教授・災害心理研究所所長 筒井 雄二

名古屋大学大学院 教育発達科学研究科教授 氏家 達夫

東北大学大学院 薬学研究科ラジオアイソトープ研究教育センター講師

吉田 浩子

（お問い合わせ先）

共生システム理工学類教授・災害心理研究所
所長 筒井雄二

電 話：024-548-8163

メール：tsutsui@sss.fukushima-u.ac.jp